

ふれあいのまちづくり

ゆうやけの里

第 61 号

令和8年3月31日

発行:恩方地区住民協議会広報部 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団
事務局:恩方市民センター内 八王子市西寺方町260-4 ☎ 042-652-3333
FAX 042-659-2776

恩方市民センター30周年記念式典並びに第28回センター祭り開催

本年は恩方市民センター開設30周年という大きな節目の年となり、令和7年10月25日・26日・11月9日の3日間、にわたり開催いたしました。

これまでにない3日間開催となりましたが、あいにくの雨天により一部屋外イベントが中止となるなど、プログラムの変更を余儀なくされました。それでも多くの皆様にご来場いただき、楽しんでいただけたことになりました。

25日は、恩方市民センター並びに恩方地区住民協議会による開設30周年記念式典と、地域の皆様が日頃より制作に励まれている作品を展示する文化祭を開催いたしました。

翌26日は、雨天のため屋外模擬店は中止となりましたが、体育室では保育園児から高校生までが出演し、元気あふれる素晴らしい舞台発表が行われる福祉イベントを開催いたしました。

そして11月9日には、毎年子どもたちが楽しみにしている「子どもシテイ」と、毎月温かく美味しい食事を提供してくださっているオンガタ食堂が初めてのコラボ企画を実施し、多くの親子連れで賑わいました。

30周年記念式典には、初宿市長をはじめ、多くの来賓の皆様にご臨席を賜りました。

これまで地域の皆様、各種団体、行政関係者の皆様からいただいたご支援・ご協力・ご理解の賜物であり、心より感謝申し上げます。

また、長年にわたり地域活動を支えてこられた諸先輩方に敬意と感謝をお伝えする機会となりました。

この10年を振り返りますと、令和元年の台風被害の際には、恩方市民センターが初めて避難所として開設されました。

さらに令和2年度には大規模改修工事が行われ、各設備のリニューアルとともに体育室へ空調設備が導入されました。

近年の猛暑対策として利用者の皆様が安全かつ快適に利用できる環境が整い、避難所としての機能向上にもつながる重要な設備が備わった10年でありました。

文化祭では、出展数はやや減少傾向にあるものの、一つひとつの作品はどれも素晴らしい、来場者の皆様からも多くの感嘆の声が寄せられました。

福祉イベントでの舞台発表も、限られた時間の中で完成度の高いパフォーマンスが披露され、観覧者を大いに楽しませていただきました。

館内では、コーヒーコーナーでの交流、永寿会による血管年齢測定などの健康相談、カレーコーナーでの飲食など、終日にぎわいを見せておりました。

3日目は日程の都合上少し間が空きました。

恩方の民話・昔話おしえてください

恩方第一小学校の玄関に飾ってある卒業記念品のレリーフをご覧ください。方は、いらつしやいますか。

「蛇山」「天狗の話」「長吉の話」と興味を引くタイトルが書いてあるので、お話し自体、どんなお話か知らないと思いませんか。後世に伝えるには、今聞かないと伝わらなくなってしまうかもしれせん、そこで、この話を、レリーフの飾ってある恩方第一小学校の現校長藤先生に話をしたところ、学校図書より「八王子市西武地域 恩方の民俗」「とんとんむかし 語ろう八王子のむかし話」

「恩一小的100周年記念誌」と140周年記念誌」を持ってきてくださり、このなかにも数編載っているから参考にしてくださいとお貸しいただきました。

まだまだ、ほかにも恩方の昔話、民話があると思います、教えていただける方は、是非、お話を聞かせてください。

今後、ゆうやけの里に抜粋引用させていただきます。事務局 白井、事務局次長 大須賀、広報部長 望月までお願いします。

またですが、はちビバの共催による「子どもシテイ」とNPO法人恩方キッズ主催のオンガタ食堂によるコラボ開催となり、例年以上に多くの子どもたちがさまざまな職業体験を楽しみました。なかには「恩方キッズニア」と呼ぶ子どももいるほど、地域ならではの魅力ある取り組みとなりました。

本年は例年とは異なる開催形態となりましたが、準備から当日の運営まで、住民協議会役員・委員をはじめ多くのボランティアスタッフの皆様を支えられ、大きな事故もなく無事に終えることができました。

あらためまして関係各団体の皆様にご心より御礼申し上げます。

今後も住民協議会は、地域づくりとコミュニティの活性化に向けた活動を継続してまいります。

皆様には引き続きご支援・ご協力を賜り、恩方地域のさらなる文化向上と発展に向けて、役員・委員一同力を尽くしてまいります。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



里山体験教室

「クラフトテープで籠を編む」

11月15日、小津倶楽部おもむろで「里山体験教室」が開催され、23名(担当委員8名を含む)が参加しました。

今年のテーマは、クラフトテープで籠を編む。

講師には小津クラブの富永さんをお迎えし、6目網の技法を用いた籠づくりに挑戦しました。

クラフトテープは扱いやすく、初心者でも形を作りやすい素材で、参加者の皆さんも興味津々の様子でした。

開催にあたり、委員は事前に2回集まり、レクチャー会と材料準備会を実施しました。

会場「小津倶楽部おもむろ」での事前作業は和やかな雰囲気、委員同士が協力しながら準備を進める中で交流も深まり、当日を迎える良い機会となりました。

当日は、富永さんの丁寧な説明を受けながら、参加者がクラフトテープを一本一本丁寧に編み込んでいきました。最初はテープの扱いに戸惑う姿も見られましたが、次第にコツをつかむと手元が安定し、籠の形が見えてくるにつれて笑顔が増えていきました。

事前にレクチャーを受けていた委員もサポートに入り、質問に答えたり手を補助したりと活躍。結果として、参加者の約8割が完成に近い状態まで仕上げる事ができました。



作品を手にした参加者からは「思ったより本格的にできて嬉しい」「家でも作ってみたい」といった声がかかれ、満足度の高い教室となりました。

クラフトテープならではの扱いやすさと楽しさを味わいながら、集中して手を動かす豊かな時間を共有できた一日でした。

その他の情報

・市民センターの音楽室に防音のカーテンが設置されました。

まだ詳細な効果の程は検証できていませんが、近隣の皆様への対応も含めて今後も快適に利用していただけるように努めてまいります。

・センター駐車場入り口のスロープが高のひくい車や安全センサー付き車両ではご不便をおかけしていましたが、スムーズな出入りが可能となりました。

・火の使用が制限されます。

令和8年1月から林野火災多発期(1月から5月)に林野火災警報が発令される場合があります。

発令されると焚火やかまど、キャンプファイヤーなどの屋外での裸火の使用が制限されます。

ここ恩方地域では「どんと焼き」も行われますが、これも対象となります。詳しくは「東京消防庁」のHPをご確認ください。

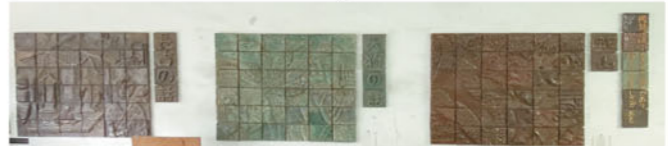
東京消防庁HP
トップ>個人の方へ>火災予防>林野火災の危険性! 空気が乾燥する季節に警戒しよう

「蛇山」「天狗の話」「長吉の話」と興味を引くタイトルが書いてあるので、お話し自体、どんなお話か知らないと思いませんか。後世に伝えるには、今聞かないと伝わらなくなってしまうかもしれせん、そこで、この話を、レリーフの飾ってある恩方第一小学校の現校長藤先生に話をしたところ、学校図書より「八王子市西武地域 恩方の民俗」「とんとんむかし 語ろう八王子のむかし話」

「恩一小的100周年記念誌」と140周年記念誌」を持ってきてくださり、このなかにも数編載っているから参考にしてくださいとお貸しいただきました。

まだまだ、ほかにも恩方の昔話、民話があると思います、教えていただける方は、是非、お話を聞かせてください。

今後、ゆうやけの里に抜粋引用させていただきます。事務局 白井、事務局次長 大須賀、広報部長 望月までお願いします。



「恩方ふれあいフェスを開催して」
 住民協青少年育成部 小山知子
 青少年育成部は青少年対策恩方地区委員会(青少対)と連携し、青少年育成に関わる様々な活動を行っています。昨年12月7日には小田野中央公園にて「恩方ふれあいフェス」を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、約350人の方々に参加していただきました。夕やけスポーツクラブ担当のグラウンドゴルフやボッチャ、シニアクラブ担当のスポーツ輪投げ。ストラックアウト、大縄跳び、まちづくりの会ワークショップで作成の樹名板つけをしたウォークラリー、そして今回は恩方中PTA発案のペットボトルを使ったボーリングや竹ポックリも初めて加わり楽しい時間を過ごしました。

ここ数年は子供だけでなく、地域の大人や他地域からの参加者も増える傾向にあり、文字通り「地域のふれあいの場」として定着してきたように感じます。

ゲームが終わったあとの昼食も楽しみの1つです。

お餅や豚汁、まちづくりの会提供のワインナーもふるまわれました。

お餅つきはコロナ禍以来数年ぶりの復活で、小津クラブの協力をいただき子供たちもお餅つきに加わるなど、にぎやかな声が響いていました。

大きな行事にはたくさんの方々のスタッフ



の力が要です。
 今回も地域の様々な団体の方々が気持ちよく力を貸してくださり本当に感謝しています。
 今後ともご協力をお願いします。

落語鑑賞会
 12月13日に恩方市民センターにて恒例の「落語鑑賞会」が開催され、41名(担当委員6名・演者3名を含む)が参加しました。

昨年の53名よりやや少ない人数ではありましたが、会場には座椅子とパイプ椅子を合わせて50席を準備し、ゆったりと落語を楽しめる環境を整えました。

今年には演者3名のうち1名が女性という珍しい構成で、三者三様の個性が光る高座が続き、会場は終始温かな笑いに包まれました。

最初に登場したのは全生さん。落ち着いた語り口でしつとりと聞かせる演目を披露し、観客を一気に落語の世界へ引き込みました。

続いて高座に上がったのは女性落語家の遊若さん。力強くテンポの良い語りで会場を沸かせ、明るく勢いのある話芸に大きな笑いが広がりました。

そして最後のとりを務めた百園さんは、名作「死神」を熟演。緩急のある語りと表情豊かな演技で物語の世界を鮮やかに描き出し、観客からは大きな拍手が送られました。

参加者からは「今年も面白かった」「来年も楽しみたい」といった声が寄せられ、地域の皆さんにとって年末の楽しみとして定着していることが感じられました。落語の持つ話芸の奥深さと、



演者それぞれの個性が織りなす豊かな時間を共有できた、充実した鑑賞会となりました。



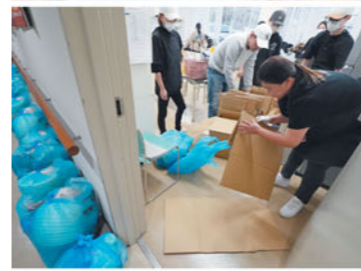
祝 恩方市民センター開設30周年記念
 恩方市民センター30周年記念式典



オンガタ食堂



第28回センターまつり
 福祉イベント
 元気あふれる素晴らしい舞台発表



この日のオンガタ食堂では600食を用意……！
 その分、ゴミも……！！
 ゴミはいつも、手分けして
 持って帰って処分しているそうです。



大盛況！こどもシテイ